

印西市子ども読書活動推進計画（第四次）【計画の体系表】

【基本方針1】子どもの読書活動を深める機会の提供・充実

区分	内 容	担当課・施設・機関等
(1) 家庭における子どもの 読書活動の推進	1-(1)-A ころころ相談（4か月児相談）におけるブックスタート	子育て支援課
	1-(1)-B 母子健康手帳交付時に赤ちゃんと母にお勧めの絵本パンフレットを配付	子ども家庭課（旧健康増進課）
	1-(1)-C 家庭教育学級における子どもの読書活動の推進に関する情報の提供	生涯学習課
(2) 図書館における子どもの 読書活動の推進	1-(2)-D 幼児や小学生を対象とした定期的な「おはなし会」などの開催	市立図書館
	1-(2)-E 図書館見学や図書館業務体験活動などの事業の実施	
	1-(2)-F 市内中学生の職業体験学習の受入	
	1-(2)-G 高校生のインターンシップの受入	
(3) 関連施設における子どもの 読書活動の推進	1-(3)-H 乳幼児と保護者を対象とした読み聞かせなどの講座の実施	子育て支援センター そうふけつどいの広場
	1-(3)-I 乳幼児や小学生を対象とした読み聞かせの実施	子育て支援センター そうふけつどいの広場 児童館 子ども発達センター コミュニティセンター
(4) 保育園・幼稚園における 子どもの読書活動の推進	1-(4)-J カリキュラムにおける読み聞かせなどの時間の確保	保育園 幼稚園
	1-(4)-K 年間行事における「おはなし会」などの実施	
	1-(4)-L 保護者会などにおける子どもの読書活動に関する情報の提供と家庭での読書活動への働きかけ	
(5) 学校における子どもの 読書活動の推進	1-(5)-M 各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間における調べ活動や多様な読書活動の実施	小学校 中学校
	1-(5)-N 読書の時間の位置付けや読書活動の継続的な取り組み	
	1-(5)-O 「読書まつり」「読書集会」などにおける読書活動の実施	
	1-(5)-P 学校図書館の利用方法などを学習する機会の提供	
	1-(5)-Q 図書委員会等における児童生徒のアイディアを活かした「図書便り」の発行や「読書週間」における自主的な活動	

【基本方針2】子どもの読書活動をみんなで支える読書環境の整備・充実

区分	内 容	担当課・施設・機関等
(1) 図書館資料の整備と活用の充実	2-(1)-A 読書相談におけるアドバイス、情報提供	市立図書館
	2-(1)-B 図書資料の計画的な選定と購入	
	2-(1)-C 外国語の図書資料の収集・整理・提供	
	2-(1)-D 生涯学習まちづくり出前講座「図書館ってどんなところ？」「読んであげよう！」「本の修理講習」の実施	
(2) 関連施設の図書資料の整備と活用の充実	2-(2)-E 図書館からの団体貸出の活用	コミュニティセンター
	2-(2)-F 子どもや保護者向けの図書資料の整備・展示などの実施	児童館 子育て支援センター コミュニティセンター
(3) 保育園・幼稚園・学校の図書資料の整備と活用の充実	2-(3)-G 子どもや保護者への本の貸出の促進	保育園 幼稚園 小学校 中学校
	2-(3)-H 図書資料の計画的な選定と購入	
	2-(3)-I 子どもが使いやすい、読書意欲を高める図書の展示などの図書環境の整備	
	2-(3)-J パソコンを活用した蔵書情報のデータベース化・活用の促進	
(4) 読書指導に関する体制の整備と職員のスキルアップ研修などの充実	2-(4)-K 学校司書と研修会等の開催	指導課 教育センター 市立図書館
	2-(4)-L 学校司書の増員配置による学校図書館の環境の充実	指導課 教育センター
	2-(4)-M 読書活動の意義や大切さ・読み聞かせなどのポイント・図書整備に関する研修などの充実	関連施設
(5) 関連施設・読書ボランティアなどの連携・協力	2-(5)-N 図書館司書や読書ボランティアによる読み聞かせなどや本の紹介、図書の整備	市立図書館 読書ボランティア 関連施設
	2-(5)-O 図書館・読書ボランティア・関連施設・機関の交流会による活動状況などの情報交換	

【基本方針3】子どもの読書活動に関する情報の普及・啓発

区分	内 容	担当課・施設・機関等
(1) 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供	3-(1)-A 公共施設へのリーフレットなどの配布・ポスターの掲示	関連施設
	3-(1)-B 『としょかんつうしん』の発行	市立図書館
	3-(1)-C 『えほんのくに』『ほんのタネ！』『Book de Go！』などブックリストの発行	
(2) 関連施設等との連携・協力による広報・啓発	3-(2)-D 学校司書による連絡会	指導課 教育センター
	3-(2)-E 学校図書館担当者会議	
	3-(2)-F ブックスタート事業検討会議	子育て支援課
	3-(2)-G 子どもの読書活動に関する事業の案内、ポスターの掲示、リーフレットの配布など	関連施設

※関連施設は、印西市子ども読書活動推進計画（第四次）のP24～25を参照。

印西市子ども読書活動推進計画（第四次）【進行管理票 1】

【基本方針 1】子どもの読書活動を深める機会の提供・充実

（1）家庭における子どもの読書活動の推進

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
1-(1)-A	こころ相談（4か月児相談）におけるブックスタート	子育て支援課	子育て支援センター等の役割を分担することで、対象者、保護者の待ち時間による負担を減らし、円滑化を図った。また、ゆっくり読み聞かせすることで、心にゆとりを持ちながら、本を通して親子が触れ合う時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数 53回 配布数 772冊 ボランティアによる読み聞かせを再開し、絵本の選定を保護者の方と一緒に行いながら、絵本を介して親子のコミュニケーションを図る大切さを伝えることができた。	令和7年度からこころ相談でのブックスタート事業は廃止となるため、形式を変えて実施する予定。	継続
1-(1)-B	母子健康手帳交付時に赤ちゃんと母にお勧めの絵本パンフレットを配付	子ども家庭課 (旧健康増進課)	母子健康手帳の発行は市内2箇所で実施しており、母子健康手帳交付時に絵本の紹介パンフレットを配付。	母子健康手帳発行数 740冊 (うち双胎 10人) 資料配付数（転入者への配付を含む） 804枚	妊娠届出のあった妊婦全員に資料の配付を行い、絵本の紹介と共に絵本の選び方の周知を図る。	継続
1-(1)-C	家庭教育学級における子どもの読書活動の推進に関する情報の提供	生涯学習課	「読み聞かせ」等読書をテーマとした学習会の開催。	学習会開催回数 6回 参加人数 のべ 73人	各学校とも、ボランティアや司書による「読み聞かせ」活動を実施したり、「朝の読書」を実施したりしている。生涯学習課としては、家庭教育講座を通して子どもの読書活動の効果を伝えていく必要がある。	継続

(2) 図書館における子どもの読書活動の推進

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
1-(2)-D 幼児や小学生を対象とした定期的な「おはなし会」などの開催	市立図書館		大森図書館 おはなし会は毎月第2・第4日曜日に実施。 夏のおはなし会・クリスマス会はボランティアと協力して実施。	・おはなし会 大型絵本や手遊びなどを取り入れ、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫し実施した。 開催回数 24回 参加人数 179人 ・夏のおはなし会 36人 ・クリスマス会 42人	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続
			小林図書館 おはなし会は毎月第4土曜日に実施。 クリスマス会は小林親子読書会かたつむり・小林公民館と連携して実施。	・おはなし会 絵本など楽しめるものを用意した。 開催回数 11回 参加人数 37人 ・クリスマス会 39人	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続
			そうふけ図書館 おはなし会は毎月第1から第4土曜日に実施。 おはなし会スペシャルはそうふけ公民館と連携、ボランティアと協力して実施。	・おはなし会 大型絵本や手遊びなどを取り入れ、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫し実施した。 開催回数 47回 参加人数 374人 ・おはなし会スペシャル 65人	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続
			小倉台図書館 おはなし会は毎週日曜日に実施。 中央駅前地域交流館でのおはなし会を実施。 クリスマスのおはなし会はボランティアと協力して実施 小さい子と親の読書会は木戸親子読書会と連携して実施。	・おはなし会 大型絵本や手遊びなどを取り入れ、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫し実施した。 開催回数 47回 参加人数 502人 ・中央駅前地域交流館のおはなし会 開催回数 5回 参加人数 89人 ・小さい子と親のおはなし会 40人 ・クリスマスのおはなし会 29人	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続
			印旛図書館 おはなし会は毎月1回実施。 夏のおはなし会はボランティアと協力して実施。	・おはなし会 大型絵本などを取り入れ、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫して実施した。 開催回数 12回 参加人数 213人 ・夏のおはなし会 30人	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続
			本塙図書館 おはなし会は毎月第3土曜日に実施。 クリスマスのおはなし会はボランティアと協力して実施。 セット本を貸し出す「おうちおはなしかい」の実施。	・おはなし会 大型絵本などを取り入れ、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫して実施した。 開催回数 11回 参加人数 77人 ・クリスマスのおはなし会 22人 ・「おうちおはなしかい」としておすすめの絵本や紙芝居セットを提供した。155セット	参加者増員を目標に、周知方法の工夫、時間や内容の検討を行う。事業の継続及び拡大の検討・実施を行う。	継続

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
1-(2)-E	図書館見学や図書館業務体験活動などの事業の実施	市立図書館	夏休みに、図書館探検隊（小学生向け）を行う。その他、図書館見学・職場体験等の依頼があれば受け入れる。	小学生を対象に下記の事業を実施した。 • 大森図書館 図書館探検隊 8人 職場見学 大森小 6人 • 小林図書館 図書館探検隊 3人 • そうふけ図書館 図書館探検隊 7人 • 小倉台図書館 図書館探検隊 8人 職場見学 木刈小 21人 小倉台小 35人 • 印旛図書館 図書館探検隊 4人 • 本塩図書館 図書館探検隊 4人	周知方法の工夫や内容の見直しなどを継続的に行っていく。	継続
1-(2)-F	市内中学生の職業体験学習の受入	市立図書館	市内中学生による職場体験。	• 大森図書館（木刈中4人、西の原中4人、印西中2人） • そうふけ図書館（原山中2人、西の原中2人、船穂中2人） • 小倉台図書館（木刈中3人、西の原中4人） • 印旛図書館（印旛中3人） • 本塩図書館（印旛中2人、小林中2人、滝野中2人）	必要に応じて各校の受け入れ時期や人数を調整する。	継続
1-(2)-G	高校生のインターンシップの受入	市立図書館	高校生のインターンシップ。	学校からの依頼はなかった。	必要に応じて各校の受け入れ時期や人数を調整する。	継続

(3) 関連施設における子どもの読書活動の推進

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
1-(3)-H	乳幼児と保護者を対象とした読み聞かせなどの講座の実施	西の原保育園こあら	0歳児、1歳児、2歳児以上の年齢ごとに図書館司書による講座を依頼。1・2歳児以上は、同日に行う。	年2回実施。0歳児7組14名参加。1歳児7組13名参加。	特になし。	継続
		滝野子育て支援センター	年齢に合った絵本等の読み聞かせを行い、絵本が楽しいものであることを親子へ伝えいく。	親子で楽しみながらおはなしの時間に参加している様子であった。 587回 ・乳幼児 6,108名 ・保護者 4,736名 合 計 10,844名	この時間を楽しみに来館する親子もいるので、同じ内容にならないように、季節に合ったものを選べるよう職員のスキルアップできる場作り。	継続
		そうふけつどいの広場	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	未定
1-(3)-I	乳幼児や小学生を対象とした読み聞かせの実施	そうふけ児童館	子育て拠点事業「こぎつねコンタの広場」において、月3回お話シアターを開催し、絵本や紙芝居、パネルシアター、ペーパーサート、エプロンシアターなどお話の楽しさを伝えた。	毎回「おはなしタイム」を楽しみにする様子が見られていた。 開催数：872回 ・乳幼児： 8,130名 ・保護者： 6,219名 合 計： 14,349名	「おはなしタイム」の参加年齢に幅があるので、年齢に合わせた本の選定を検討する必要がある。	継続
		いんぱり児童館	子育て拠点事業「こぎつねコンタの広場」において、月3回お話シアターを開催し、絵本や紙芝居、パネルシアター、ペーパーサート、エプロンシアターなどお話の楽しさを伝えた。	親子で楽しみながら参加した。 530回 ・乳幼児 4,037名 ・保護者 3,081名 合 計 7,118名	小学生を対象とした読み聞かせの実施を移動児童館の中でどのように取り入れていくか。	継続
		子どもふれあいセンター	親子参加型事業のなかで、絵本に触れる機会を設けていく。	事業やタイムでお話を読む機会を入れたことにより絵本に興味がある親子が増えた。 広場でも母親が絵本を読んであげる姿が多く見られた。 218回 ・乳幼児 2,480名 ・保護者 2,310名 合 計 4,790名	乳幼児の絵本の充実を図り、引き続きおはなしへの興味をもたせていく。 小学生のお部屋もこどもたちが本を読みたいと思う環境作りに努めていく。	継続
		中央駅前児童館	事業等で読み聞かせの時間を設ける。年齢に合わせた絵本の紹介、親子に対して聞く姿勢について知らせていく。	親子であそぼうの中で読み聞かせを実施。毎回楽しみにしている親子が多くいた。 512回 ・乳幼児 3,600名 ・保護者 3,232名 合 計 6,832名	年齢にあつた絵本を選び、話の内容に興味を持たせながら、絵本の楽しさを伝えていく機会を設けていきたい。	継続

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
1-(3)-1 乳幼児や小学生を対象とした読み聞かせの実施		中央駅前児童館	保育ボランティア体験で読み聞かせを体験する。	ゆうぎ室であそぼう、にこにこハッピー、すこやかキッズなど事業の中で読み聞かせを行い、親子で参加。 ・乳幼児 192名 ・保護者 173名 合 計 365名	引き続き、年齢や季節にあった絵本選び、楽しめるように努めていきたい。また、小中高生向けの本の充実させていく。	継続
		子ども発達センター	日々の活動の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを親子に提供する事で、親子のふれあいや読み聞かせの大切さを伝えていくと共に、その年齢にあった絵本の選び方を知らせたり、季節に合ったテーマの絵本を提供した。	受け入れや療育の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。また、子どもの発達や特性に合わせた絵本や歌や音楽を交えたシアターなどを選び、繰り返し行うことで、お話への興味や傾聴姿勢の向上につながった。	発達のゆっくりさや特性がある子どもが心地よく楽しめる読み聞かせや、親子のふれあいの仕方を、保護者が見つけていけるように支援する。	継続
		そうふけふれあいの広場	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	そうふけふれあいの里大規模改修工事の為休館。	未定
		サザンプラザ	①毎週月曜日、未就園児と保護者を対象とした読み聞かせを行った。また、小学生も対象としたお話し会スペシャルを行った。 ②小学生を対象に食べ物を題材にした絵本を読み聞かせ、その料理を作る。	①参加者が年々減少していく中で打開策として開始時間の変更をした。旧11:20～新11:00～ 実施回数：50回 参加者数：200人 ②参加者数：14名	参加者数の減少。	継続
		フレンドリープラザ	①「読み聞かせとブラックシアター」木戸小読み聞かせボランティアの皆さんによる上演 ②「クリスマス会」環境生活部との共催。読み聞かせとクリスマス会。 ③「絵本・紙芝居 読み聞かせの会」 ④「読書感想カード」募集	①コロナ蔓延による、ブラックシアター上演を休止継続中 ②クリスマス会において、読み聞かせを実施（小学生14人、保護者9人参加）	読み聞かせの機会を増やす。	継続
		永治プラザ	利用者団体による読み聞かせを実施する。	実施には至らなかった。	事業化は難しい。	未定
		船穂コミュニティセンター	事業化に向け検討していく。	実施には至らなかった。	事業化に向け検討。	未定

(4) 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
1-(4)-J カリキュラムにおける読み聞かせなどの時間の確保	木刈保育園 内野保育園 高花保育園 西の原保育園 もとの保育園 瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園) もとの幼稚園	木刈保育園	子どもにあった内容の絵本を読み聞かせていくようにする。	年齢に合わせた絵本や行事、生活の仕方に関するお話等を選んでクラスで読み聞かせを行ったり、自由な時間に個人が選んだ絵本を読んであげると、興味や関心をもつことができた。	特になし。	継続
		内野保育園	子どもに合った内容の絵本を読み聞かせていくようにする。	年齢に合わせた絵本を選んで読み聞かせを行い、興味・関心を持つことができた。 ・自由に絵本を楽しむ時間を作ることで、お気に入りの絵本を見つけることができた。 ・時間外保育でも読み聞かせの期間を作っている。	特になし。	継続
		高花保育園	子どもの成長・発達・興味にあった内容の絵本を読み聞かせていくようにする。	年齢に合わせた絵本を選んで絵本を選んで読み聞かせを行い、興味や関心を持つことができた。	特になし。	継続
		西の原保育園	子どもに合った内容の絵本を読み聞かせていくようにする。	自由遊びの時間に好きな絵本を読んだり、クラスで1日3~4回読み聞かせを行ったりして、絵本や物語の楽しさを味わい興味関心を高めることができた。	特になし。	継続
		もとの保育園	給食・おやつの前、昼寝前、その都度必要に応じて毎日読み聞かせをしている。	年齢に合わせた絵本を選んで読み聞かせを行い、興味・関心を持つことができた。乳児はコミュニケーションを図る場となり、幼児は図鑑や文字への関心も深まった。	特になし。	継続
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	月間絵本の導入を活用。 読み聞かせの時間を積極的に確保する。	月間絵本を活用することで、行事やその時期の草花、生物など知ることができた。読み聞かせを通して本に興味や関心が高まった。絵本の貸し出しをしたことで、保護者との絵本に関する事でのやり取りが増えた。	絵本の貸し出しの数を増やす。みんなの部屋の絵本コーナーを充実させる。	継続

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
1-(4)-K	年間行事における「おはなし会」などの実施	木刈保育園	該当なし。			
		内野保育園	引き続き、ボランティアの方に協力していた だき、「絵本の日」を実施する。	月1回、絵本の日を実施。 地域の人に読み聞かせをしてもらうことで、 特別感を味わいながら見たり聞いたりしてい た。	特になし。	継続
		高花保育園	該当なし。			
		西の原保育園	該当なし。			
		もとの保育園	図書館などの「おはなし会」のチラシを掲 示。			
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	該当なし。			
1-(4)-L	保護者会などにおける子どもの読書活動に関する情報の提供と家庭 での読書活動への働きかけ	木刈保育園	園だより等で絵本への取り組みを知らせていくとともに、家庭において親子で絵本に触れる機会が持てるようはたらきかける。	絵本の魅力や、紹介を園だよりや、クラスだ より、掲示などで知らせると、保育園で借りて帰って読んでみたなどの話があった。	特になし。	継続
		内野保育園	園だよりや掲示ボードで、絵本などの情報提 供をしていく。	読み聞かせをする中で、こどもたちが気に 入っている本や興味のある本をキッズダイア リーにて知らせていった。	家庭では動画やゲームを好んで楽しむ子も増 えており、家庭で絵本を見る機会は減ってい るように感じる。絵本の魅力を伝えられるよ うにしたい。	継続
		高花保育園	保育参加日や園だより等で、本の選び方や読 み聞かせの仕方等を知らせ、絵本等のお話に 興味が持てるようにした。	日々の保育の中でこどもの興味・関心のある 内容の選び読み聞かせを行い、保育参加や家 庭へのおたより等で、こどもの喜ぶ本、興味 のある本等を紹介し、情報提供をした。	特になし。	継続
		西の原保育園	園だより等で取り組みを知らせていくとともに、家庭において親子で絵本に触れる機会を 持っていただくよう伝える。	こどもに人気のある絵本や読み聞かせをした 際のこどもの姿をクラスだより等で知らせた ことで、家庭でも絵本への関心を高められた。	特になし。	継続
		もとの保育園	園だより等で絵本の貸し出しのお知らせをす る。	日々の保育の中でこども達が興味・関心のあ る絵本等の読み聞かせを実施した。各クラス だより等で保護者に知らせ、家庭でも話題に 出してもらうようにした。	特になし。	継続
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	定期購読絵本のパンフレット配付。	年間購読絵本4月～3月まで毎月持ち帰る。 年間購読注文 5名	年間購読絵本、充実した本を選別する。	継続

(5) 学校における子どもの読書活動の推進

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
1-(5)-M	各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間における調べ学習や多様な読書活動の実施	小学校 中学校 (指導課 教育センター)	調べ学習を充実させていくための学校間貸出の実施及び市立図書館との連携「団体貸し出し」の充実。 レファレンスサービスの充実。	市立図書館と連携し、必要な本の「団体貸し出し」を行うことができた。 ・(小) 62件 (中) 7件 学校図書館や市立図書館を利用した調べ学習により、学習活動を深めることができた。 ・レファレンス回数 (小) 980回 (中) 170回	調べ学習や多様な読書活動の更なる推進を目指し、市立図書館と連携の強化及び、テーマ（課題）にかかる図書の紹介などの充実を図りたい。そのため、「学習センター」「情報センター」としての機能を発揮できるようにしていく。さらに課題点として、教える単元や行事の時期が重なるので、借りたい本が複数校で重なってしまうことが挙げられる。調整を図りながら、できるだけ学校の要望にそえるようにしていく。	継続
1-(5)-N	読書の時間の位置付けや読書活動の継続的な取り組み	小学校 中学校 (指導課 教育センター)	朝読を中心とした読書の時間の確保。 読書をする本の質を高めるため、推薦図書の紹介の実施。	朝読書や図書ボランティアによる読み聞かせなどを活用することで、多くの学校で読書の時間を確保することができた。また、スクリーンで読み聞かせした本を配信し、家庭にも本を紹介するという事例が見られた。学校司書連絡会において図書に関する情報交換を図りながら、図書便りや掲示物などで推薦図書の紹介を行うことができた。 ・学校司書連絡会6回	朝読書などで各自が本を用意する場合に、どのような本を持参するのがよいのか質の向上を求めていく。また、学校図書館の環境を整備して、児童生徒が進んで図書を活用できる環境を整える。	継続
1-(5)-O	「読書まつり」「読書集会」などにおける読書活動の実施	小学校 中学校 (指導課 教育センター)	読み聞かせの機会の拡充。 (小) 18校 (中) 9校 読み聞かせの内容の充実を図る。 読書に関わる行事の実施。 (小) 18校 (中) 9校	学校司書や担任、図書ボランティアによる「読み聞かせ」などを実施した学校が多かった。また、図書委員会、学校図書館担当、学校司書が協力し、読書に関する行事を実施することができた。 ・読み聞かせ回数 (小) 7,227回 (中) 103回	小学校の「読み聞かせ」回数が昨年度より約200回増加した。しかし内訳を分析すると、担任等による「読み聞かせ」回数が減少している。学校によっては、図書委員等による「読み聞かせ」を積極的に行っているので、各学校の実態に応じて実施方法などを工夫し、「読み聞かせ」や「読書活動」のさらなる充実を図っていく必要がある。	継続
1-(5)-P	学校図書館の利用方法などを学習する機会の提供	小学校 中学校 (指導課 教育センター)	学校図書館利用指導の時期の統一や内容の充実を図る。 学校図書館担当者会議や学校司書連絡会での情報や資料の提供。	多くの学校が、早い段階で学校図書館の利用について指導することができた。また、会議において、実施方法や時期について情報や資料の交換を行うことができた。 ・学校司書連絡会 (第1回4月8日) ・学校図書館担当者会議 (第1回4月19日)	学校によっては、学校司書の出勤日や行事や授業の関係で、4月の早い時期に学校司書による学校図書館の利用指導ができないこともありますので、学校司書、学校図書館担当、担任などが連携し、学校や学年の実情に応じて指導を行っていく必要がある。	継続
1-(5)-Q	図書委員会等における児童生徒のアイディアを活かした「図書便り」の発行や「読書週間」における自主的な活動	小学校 中学校 (指導課 教育センター)	学校図書館担当者会議や学校司書連絡会における各校の取組の紹介。 図書便り等での情報交換。	学校図書館担当者会議や学校司書連絡会において各校の活動について情報交換することができた。また、各校で発行している「図書便り」を交換することで、他校の活動を参考にすることことができた。 ・「図書便り」の発行 (小) 18校 (中) 9校	図書委員会の自主的な活動については、児童・生徒の実態や委員会の人数、委員会の活動時間などによって学校間で差がある。自主的な活動を保障する時間や体制を作る必要がある。	継続

印西市子ども読書活動推進計画（第四次）【進行管理票2】

【基本方針2】子どもの読書活動をみんなで支える読書環境の整備・充実

（1）図書館資料の整備と活用の充実

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
2-(1)-A	読書相談におけるアドバイス、情報提供	市立図書館	気軽に読書相談が出来る雰囲気つくりや適切なアドバイスが出来るような情報収集に努める。	子どもや保護者からの読書相談に応じ、本の紹介、情報提供を行った。	気軽に読書相談ができる環境をつくり、適切なアドバイスができるよう職員の専門知識の向上に努める。	継続
2-(1)-B	図書資料の計画的な選定と購入	市立図書館	市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料の収集をすすめ、各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努める。	各館の地域の特性や利用状況を考慮し、内容に配慮した収書を行った結果、 大森図書館：3,094冊 (内児童書838冊) 小林図書館：1,368冊 (内児童書447冊) そうふけ図書館：2,145冊 (内児童書838冊) 小倉台図書館：3,877冊 (内児童書1,297冊) 印旛図書館：1,016冊 (内児童書257冊) 本笠図書館：1,074冊 (内児童書283冊) の図書資料を購入した。 非来館型サービスとして、383点の電子書籍を追加した。	市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料の収集をすすめ、各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努める。 電子書籍等非来館で利用できる資料の収集をすすめる。	継続
2-(1)-C	外国語の図書資料の収集・整理・提供	市立図書館	絵本や、読み物だけでなく、様々な分野の資料収集に努める。	資料の収集・整理及び提供を行った。	今後、市内在住の外国人の子ども向けの外国語資料や日本語学習資料の収集に努める。	継続
2-(1)-D	生涯学習まちづくり出前講座「図書館ってどんなところ？」「読んであげよう！」「本の修理講習」の実施	市立図書館	出前講座「初めての図書館使い方講座」「読んであげよう！」「本の修理講習」の実施及び講師派遣を行う。	・読んであげよう！ 1件（ゆいキッズ） ・本の修理講習 1件（いには野小） に講師の派遣を行った。	出前講座について、依頼を受けて講師を派遣する。	継続

(2) 関連施設の図書資料の整備と活用の充実

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み(方向性など)
			内容	成果(回数・人数など)	課題	
2-(2)-E	図書館からの団体貸出の活用	ササンプラザ	3か月ごとに団体貸出を活用。	3ヶ月毎に約360冊の本の団体貸出しを実施した。	偏りのない選書を心がける。	継続
		フレンドリープラザ				未定
		永治プラザ	活用数の増大に努めていく。	3ヶ月毎に約300冊の団体貸出しを活実施した。	偏りのない選書を心がける。	継続
		船穂コミュニティセンター	来館者へ周知し、増大に努める。	利用無し。		未定
2-(2)-F	子どもや保護者向けの図書資料の整備・展示などの実施	中央駅前児童館	児童書の購入、図書コーナーの整備。	乳幼児親子向けの本の紹介を行ったり、自由に手に取って見られるようにし、利用者が絵本に触れる機会を増やした。児童は漫画を充実させことで、楽しみに来館する子が増えた。	引き続き、年齢や季節に応じた絵本の紹介や設置、児童図書コーナー等、環境を整える。	継続
		子どもふれあいセンター	乳幼児、小学生等が興味を持ちやすい内容のものを選び、書架の目に付く位置に配置しておく。	広場のゆったりした空間の中で親子で絵本を見る姿が見られた。小学生も家庭と同じようにくつろいで本を読む姿が見られた。	乳幼児、児童向けの本を充実させ、図書の環境整備にも力を入れる。	継続
		そうふけ児童館	乳幼児、小学生等が興味を持ちやすい内容のものを選び、書架の目に付く位置に配置しておく。	書架の場所を変えたことで、児童が落ち着いて読書を楽しむ姿が増えた。	児童向けの図書の購入場所の不足。	継続
		いんぱ児童館	拠点事業「マメタのぼんぼこ広場」において月4回程おはなしわーるどを開催していく。	絵本の紹介は毎回楽しんでくれた。新しい絵本に興味を持つ小学生が増えた。	乳幼児向けの触って遊べる絵本の購入をしていきたい。	継続
		西の原保育園こあら	保護者用の育児書の用意。	毎月1冊ずつ絵本を購入し絵本コーナーを充実させたことで、絵本を手に取る親子が増えた。	特になし。	継続
		滝野子育て支援センター	乳幼児や保護者が興味を持ちやすい内容のものを選び、目に付く位置に配置しておく。	絵本のそばにベンチを置いたことで、親子でゆっくり絵本を見る姿が増えた。	めくるだけでなく、仕掛け絵本の購入できる場を探したい。	継続
		ササンプラザ	夏休みにおすすめの本の紹介とギャラリー展示。	こどもたちが興味をもってみられるよう展示を工夫した。	こどもが関心を持つ内容を考えたい。	継続
		フレンドリープラザ	図書コーナーを充実させる。	季節ごとにおすすめ本を選び展示した。	おすすめ本選定展示の頻度を増やす。	継続
		永治プラザ	図書コーナーを充実させる。	年に20冊程度の新刊話題図書を購入し、広く貸出した。	偏りの無い選定を心がける。	継続
		船穂コミュニティセンター	図書コーナーを充実させる。	新刊、話題作等を中心に購入し、利用者が増大した。	利用者増大の為のレイアウトを考える。	継続

(3) 保育園・幼稚園・学校の図書資料の整備と活用の充実

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方針性など）
			内容	成 果（回数・人数など）	課 題	
2-(3)-G 子どもや保護者への本の貸出の促進	木刈保育園 内野保育園 高花保育園 西の原保育園 もとの保育園 瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園) もとの幼稚園 小学校 中学校 (指導課 教育センター)	木刈保育園	皆が通る場所に見やすく絵本の貸し出しコーナーを設ける。	園児に絵本の貸し出しカードを作成し、5月より絵本の貸し出しを行った。絵本コーナーの本は月に2回季節や年齢にあったものに入れ替えを行った。43名が利用をし合計年間636冊借用があった。	特になし。	継続
		内野保育園	絵本等を保護者にも貸し出しできることを知らせていく。	令和6年度は貸し出しを行わなかった。	家庭でもいろいろな絵本に触れてほしいので、次年度は実施に向けて準備をしたい。	継続
		高花保育園	園児に絵本のカードを作成し、絵本の貸し出しを行った。絵本コーナーの本は月に2回季節や年齢にあったものに入れ替えを行った。	いつでも絵本に触れられるように、事務室前に絵本のコーナーを設置することで絵本を借りる子が増えた。300冊を超える貸し出しがあった。	絵本の貸し出しは幼児組の子が多く、乳児組のこどもたちの貸し出しが増えるような工夫をしたい。	継続
		西の原保育園	絵本を貸し出していることを、知らせていく。	令和6年度は貸し出しを行わなかった。	家庭でもいろいろな絵本に触れてほしいので、次年度は実施に向けて準備をしたい。	継続
		もとの保育園	該当なし。			
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	該当なし。	10名貸し出しの要望があった。	貸し出せる本を増やす。	拡大
		小学校 中学校 (指導課 教育センター)	貸し出し冊数の安定化を図る。 〈1人あたりの貸し出し冊数目標〉(年間) (小) 21冊 (中) 9冊 (方策) ・学年の発達段階に応じたオリエンテーションを実施し、本の借り方や選び方を身に付けるようにする。 ・個に応じた読書相談の充実 ・新着図書・推薦図書の掲示の工夫 ・図書館便りや教育センターHPにおける良書の広報 ・親子読書会の実施により、保護者の読書活動推進を図る。	学校司書を各校へ配置することにより、児童・生徒に対する貸し出し方法の指導や読書相談の充実、読書活動の啓蒙、新着図書や推薦図書の広報活動を行うことができた。 ・貸し出し冊数 (小) 375,008冊 (中) 17,722冊 ・1人あたりの貸し出し冊数 (小) 48冊 (中) 6冊	令和5年度と比較して、小学校では貸し出し冊数が約2万冊増加し、1人あたりの貸し出し冊数は約1冊増加した。中学校でも貸し出し冊数が約1,000冊増加した。これは学校図書館司書による児童・生徒への広報活動や、魅力的な図書館づくりの効果であると考えられる。今後も本の紹介や広報活動等、児童・生徒の関心を継続する工夫を図るとともに、図書館環境の整備を進めていく。	継続

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
2-(3)-H	図書資料の計画的な選定と購入	木刈保育園	興味や関心を持てるような絵本、また、図鑑等の購入をしていく。	各年齢で、年間購読絵本を72冊、その他、こどもたちの関心の高い絵本や季節や行事に合わせた絵本を67冊と大型絵本2冊を選定して購入した。	特になし。	継続
		内野保育園	こどもの興味や関心のあるような本を購入する。	各年齢で、年間購読絵本を購入。その都度、こどもたちの関心に合わせて絵本を選定して購入している。	特になし。	継続
		高花保育園	予算範囲内での絵本の購入。	年齢や季節、こどもの興味や関心に合った絵本を選んで購入した。	特になし。	継続
		西の原保育園	安全・食育分野の絵本の購入をする。	月間絵本を72冊、その他80冊余りの絵本や図鑑を購入した。	特になし。	継続
		もとの保育園	年間購読絵本を4月に選定し、各学年購入する。また、その都度必要に応じて購入した。	年齢や季節、こどもの興味に合った絵本を購入した。また、こどもたちの興味・関心に合わせ図鑑などの購入もした。	特になし。	継続
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	必要に応じてその都度選定し、購入。	新しい本をこどもの興味関心に合わせて購入した。	学期ごと本の選別をする。	継続
		小学校 中学校 (指導課 教育センター)	図書資料選定と購入のために、市立図書館司書を交えて、資料の提供、情報交換を行うための連絡会を実施。 学校司書連絡会の実施・・・年6回 図書資料選定のための資料提供・・・隨時寄贈図書の適正な配置と有効活用。	学校司書と市立図書館司書の連絡会を行うことで、情報交換をすることができ、選書に役立った。	印西市学校図書廃棄規準に沿って廃棄を進めながら、どのような本を新しく購入していくか、児童生徒や職員のニーズに応じた本の選定を計画的に行っていく必要がある。	継続

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
2-(3)-I	子どもが使いやすい、読書意欲を高める図書の展示などの図書環境の整備	木戸保育園	子どもたちが絵本を選びやすい本箱にするなど、環境を整える。	季節や行事に合わせて本の入れ替えを行ったり、新刊を購入したりし、手に取りたくなるように環境を整えたところ関心が高まった。	特になし。	継続
		内野保育園	子どもの興味・関心が持てるような場の設定をし、絵本を大切に扱う。	季節に合わせて本の入れ替えを行ったところ、興味や関心が深まった。	特になし。	継続
		高花保育園	年齢に合わせた本選びをし、絵本のコーナーだけでなく、クラスの本へも目をむけ、クラスの本箱の本の交換や展示を工夫した。	季節や子どもの興味に応じて絵本の入れ替えを行い、環境を整えた。興味をもって自分で選び、楽しんで読んでいた。	特になし。	継続
		西の原保育園	子どもの発達・興味に即したもの及び、保育士の意図する題材のものを用意していく。	季節や発達に合わせ絵本の入れ替えを行ったことで、子どもの興味関心が高まった。	特になし。	継続
		もとの保育園	子どもの興味・関心が持てるような場の設定をする。	毎月、子どもの興味や季節等を考慮しながら、本の入れ替えを行った。	特になし。	継続
		瀬戸幼稚園 (※令和5年度閉園)				
		もとの幼稚園	各保育室や廊下に本棚を設置	皆の部屋に読書ができるコーナーを設置し、自由に読めるようにした。	子どもが絵本を手に取りやすいように表示などする。	継続
		小学校 中学校 (指導課 教育センター)	環境整備の計画的な実施 ・図書ボランティアによる環境整備 ・図書委員会児童生徒による環境整備 ・教職員による環境整備	学校図書連絡会を当番校で開催することにより、他校の環境を参考にすることができる、学校図書館の環境整備の推進につながった。 ・図書ボランティアによる整備 (小) 5校 (中) 1校 ・図書委員、教職員による整備 (小) 18校 (中) 9校	複数校で勤務している学校司書が多く、週当たりの勤務日や勤務時間の中だけで環境整備をしていくのは、負担が大きいところがある。学校司書やボランティアの増員を図り、学校図書館の環境をより充実させていく必要がある。	継続
2-(3)-J	パソコンを活用した蔵書情報のデータベース化・活用の促進	指導課 教育センター	システムを活用した学校間貸出の実施により、蔵書の共有化を図っていく。 学校図書館システムを一層効果的に運用し、改善していく。	図書システム研修会を実施し、学校図書館システムを各校で有効に活用できた。 ・研修会年2回	学校図書館の担当者に対して、システムを使った登録や活用について、しっかり引継ぐ必要がある。	継続

(4) 読書指導に関する体制の整備と職員のスキルアップ研修などの充実

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
2-(4)-K	学校司書との研修会等の開催	指導課 教育センター	学校図書館担当者・学校司書及び市立図書館の司書の情報交換の時間の確保と内容の充実。 研修会の内容の充実。	学校図書館担当者会議や学校司書連絡会を実施し、定期的に市立図書館の司書にも参加してもらうことで、情報交換・共通理解を図ることができた。 ・市立図書館の司書の参加（年3回）	学校司書連絡会は年6回行っているが、学校図書館担当者会議は4月の初めの1回のみしか行われていないので、学校図書館の運営について、学校図書館担当者の研修の充実を図っていく必要がある。	継続
		市立図書館	学校図書館司書担当者及び図書館の司書で連絡会を行う。	学校図書館担当者会議に年1回、学校司書連絡協議会に2回参加した。	市内小中学校及び学校司書と更なる連携を図る。	継続
2-(4)-L	学校司書の増員配置による学校図書館の環境の充実	指導課 教育センター	学校司書の増員配置…12名	学校司書は12名である。そのうち9名が2校兼務、3名が3校兼務であった。 ・学校司書の配置日数 週3日（小）3校（中）0校 週2日（小）7校（中）6校 週1日（小）8校（中）3校	図書館利用指導、読書指導をより充実させるためには学校司書を増員し、各学校への配置日数を増加することが必要である。	拡大
2-(4)-M	読書活動の意義や大切さ・読み聞かせなどのポイント・図書整備に関する研修などの充実	関連施設（市立図書館）	関連施設、団体などに研修の開催を働きかけ要望があれば行う。	生涯学習まちづくり出前講座「読んであげよう！」1件（ゆいキッズ）で実施した。 地域子育て支援事業「こあら」絵本講座に講師を派遣した。	関連施設、団体などに研修の開催を働きかけ要望に応じて実施する。	継続

(5) 関連施設・読書ボランティアなどの連携・協力

区分	内容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内容	成果（回数・人数など）	課題	
2-(5)-N	図書館司書や読書ボランティアによる読み聞かせなどや本の紹介、図書の整備	市立図書館 読書ボランティア 関連施設	読書ボランティアへの資料の提供等の支援を行う。 読書ボランティアと協力して事業を行う。	おはなし会や、夏のおはなし会、クリスマス会等、ボランティアと協力して事業を行った。	ボランティア活用事業の継続及び拡大の検討。	継続
2-(5)-O	図書館・読書ボランティア・関連施設・機関の交流会による活動状況などの情報交換	市立図書館 読書ボランティア 関連施設	読書ボランティアと交流会を実施する。	交流会の実施はなし。随時必要な情報交換を行った。	ボランティア活用事業の継続及び拡大の検討。	継続

印西市子ども読書活動推進計画（第四次）【進行管理票3】

【基本方針3】子どもの読書活動に関する情報の普及・啓発

（1）子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
3-(1)-A	公共施設へのリーフレットなどの配布・ポスターの掲示	関連施設 (市立図書館)	各施設に掲示等の依頼をする。	利用案内、事業に関するリーフレットを作成し、市役所窓口や各出張所、公民館、学校施設等に掲示を依頼した。	各事業に興味を持ってもらえるようなリーフレット・ポスターの作成。	継続
3-(1)-B	『としょかんつうしん』の発行	市立図書館	年6回発行する。	年6回発行。主催事業等の紹介を行い、各施設にて配布した。	計画的な発行及び内容の充実を図る。	継続
3-(1)-C	『えほんのくに』『ほんのタネ！』『Book de Go！』などブックリストの発行	市立図書館	『えほんのくに』を年3回、『ほんのタネ！』『Book de Go！』を年1回発行する。	『えほんのくに』を年3回、『ほんのタネ！』『Book de Go！』を年1回発行した。	計画的な発行及び内容の充実を図る。	継続

（2）関連施設等との連携・協力による広報・啓発

区分	内 容	担当課・施設・機関等	令和6年度の取り組み			令和7年度の取り組み（方向性など）
			内 容	成 果（回数・人数など）	課 題	
3-(2)-D	学校司書による連絡会	指導課 教育センター	学校司書の司書連絡会への参加。	学校図書館運営や選書に関する情報を共有することができた。そのうち2回は、市立図書館の司書も参加した。 ・年間6回	学校司書連絡会で得た情報を、学校図書館担当者が学校の図書館運営に活かせるようにする必要がある。	継続
3-(2)-E	学校図書館担当者会議	指導課 教育センター	学校図書館担当者会議や学校司書連絡会に市立図書館の司書に参加してもらい、情報交換等を行う。 ・年間3回	学校図書館担当者会議に市立図書館の司書も参加してもらうことで、共通理解を図ることができた。 ・年間1回	小学校・中学校・市立図書館の連携を一層強化し、情報交換だけでなく、より読書活動が充実したものになる取組を考えていく必要がある。	継続
3-(2)-F	ブックスタート事業検討会議	子育て支援課	検討委員会を実施し、来年度以降に配付する絵本の選定を行う。	保育園長・幼稚園長・司書・児童館長・子育て支援課職員より、配布する絵本の選定を実施した。 (選定会議1回)	次回の選定会議に向けて、配布する絵本の情報収集を図る必要がある。	継続
3-(2)-G	子どもの読書活動に関する事業の案内、ポスターの掲示、リーフレットの配布など	関連施設 (生涯学習課)	ホームページの作成による周知を行う。	各学校へチラシ等により、周知を行った。	乳幼児向けについて、データによる情報提供の方法を検討する。	継続